



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月3日

上場会社名 三共生興株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8018 URL <http://www.sankyoseiko.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 井ノ上 明
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 下川 浩一 (TEL) (06)6268-5188
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	13,814	14.7	1,825	30.9	2,504	27.1	1,979	1.7
2022年3月期第3四半期	12,040	△4.6	1,394	△20.5	1,970	△18.9	1,947	113.2

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 3,101百万円(85.7%) 2022年3月期第3四半期 1,669百万円(△16.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	46.30	—
2022年3月期第3四半期	44.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	52,929	39,845	74.7
2022年3月期	50,683	39,666	77.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 39,531百万円 2022年3月期 39,361百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	24.00	24.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	15.3	2,100	20.5	2,800	19.2	2,150	0.6	50.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 4 社 (社名) LEONARD FASHION SAS
LEOCADIA SAS 、除外 1 社 (社名)
LEONARD ASIA LIMITED
LEONARD SHANGHAI LIMITED

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期3Q	58,000,000株	2022年3月期	58,000,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	16,411,718株	2022年3月期	13,498,418株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期3Q	42,753,602株	2022年3月期3Q	43,481,382株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(追加情報)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年12月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和により、経済活動は回復基調で推移いたしましたが、急激な円安、原材料価格の上昇、資源価格の高騰など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く繊維・アパレル業界におきましては、物価上昇による消費マインドの冷え込みが懸念される一方で、行動制限の緩和により、徐々に外出需要が回復し、市場環境は回復基調にて推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、3ヶ年の中期経営計画「CHALLENGE NEXT 100」の2年目を迎え、引き続き、3つの基本戦略である「アジア市場」「DX推進」「全社戦略」を中心に、経営資源を有効活用し、企業価値向上、収益拡大に取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は前年同期比14.7%増の13,814百万円となり、営業利益は前年同期比30.9%増の1,825百万円、経常利益は前年同期比27.1%増の2,504百万円となりました。前年同期に特別利益として債務免除益など1,223百万円計上し、特別損失として商標権の減損損失など677百万円計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比1.7%増の1,979百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ファッション関連事業

基幹ブランドである「DAKS」「LEONARD」を軸に、国内をはじめ、中国・香港・マカオ・台湾・韓国・タイなどのアジア市場において、ブランド価値向上を重視し、戦略的な店舗展開を推し進め、ブランドビジネスの拡大を図っております。

また、LEONARD FASHION SAS(以下、LEONARD社)の全株式を取得し、LEONARD社が当社グループの傘下に入ることで、LEONARDの更なるブランドステータスの向上や事業展開の拡大を図ってまいります。

国内事業は、「DAKS」「LEONARD」を百貨店などに販売する国内子会社では、プロパー販売を重視し、粗利率の向上に努めるなど、収益体質の強化策を推し進め、市場環境も堅調に推移したこともあり、増収増益となりました。

海外事業は、「DAKS」「LEONARD」などを展開するアジア市場において、事業展開の拡大を推し進めており、店舗増加による売上増に加え、円安によるプラス影響もあったことから、増収増益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比16.3%増の6,374百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比52.5%増の1,752百万円となりました。

② 繊維関連事業

製品OEM事業は、依然として厳しい市況が続く中、受注競争が加速する中、スポーツ、アウトドア、イェナカ分野などへの取り組み強化を図り、増収となりましたが、急激な円安に加え、原材料価格の上昇、輸送費の高騰など、コスト高の影響により、減益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比11.1%増の6,427百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比60.8%減の52百万円となりました。

③ 不動産関連事業

大阪の賃貸ビルをメインとして東京・横浜・神戸などの不動産に係る賃貸事業は、稼働率が安定的に推移し、イベントホール事業は、前年同期に比してイベント数が減少いたしましたが、内装工事業は、工事件数が増加し、増収増益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比24.2%増の1,611百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比12.0%増の500百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,737百万円(8.2%)減少し、19,484百万円となりました。これは、現金及び預金が2,131百万円減少した一方で、商品及び製品が333百万円増加したことなどによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて3,983百万円(13.5%)増加し、33,445百万円となりました。これは、投資有価証券が1,976百万円増加、商標権が759百万円増加、使用権資産が595百万円増加したことなどによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて593百万円(9.6%)増加し、6,767百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が124百万円増加、未払金が113百万円増加したことなどによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,472百万円(30.4%)増加し、6,316百万円となりました。これは、繰延税金負債が777百万円増加、リース債務が520百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて179百万円(0.5%)増加し、39,845百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が1,227百万円増加、利益剰余金が911百万円増加した一方で、自己株式が1,849百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年11月4日の決算発表時に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,414	14,282
受取手形及び売掛金	3,267	3,195
商品及び製品	1,243	1,577
仕掛品	0	1
原材料及び貯蔵品	5	7
未収還付法人税等	25	60
その他	267	361
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	21,221	19,484
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,769	6,571
土地	2,950	2,950
使用権資産（純額）	191	786
その他（純額）	83	130
有形固定資産合計	9,995	10,440
無形固定資産		
商標権	4,008	4,768
その他	71	788
無形固定資産合計	4,080	5,556
投資その他の資産		
投資有価証券	14,840	16,817
退職給付に係る資産	9	9
その他	554	638
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	15,386	17,448
固定資産合計	29,462	33,445
資産合計	50,683	52,929

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,795	1,919
短期借入金	2,820	2,820
リース債務	218	292
未払金	40	153
未払費用	634	484
未払法人税等	121	84
その他	543	1,012
流動負債合計	6,173	6,767
固定負債		
リース債務	48	569
繰延税金負債	3,611	4,388
退職給付に係る負債	279	326
長期預り金	767	816
その他	136	215
固定負債合計	4,844	6,316
負債合計	11,017	13,083
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	6,106	6,106
利益剰余金	29,609	30,521
自己株式	△5,108	△6,958
株主資本合計	33,607	32,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,393	8,620
繰延ヘッジ損益	11	△104
為替換算調整勘定	△1,663	△1,663
退職給付に係る調整累計額	12	9
その他の包括利益累計額合計	5,754	6,861
非支配株主持分	304	314
純資産合計	39,666	39,845
負債純資産合計	50,683	52,929

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	12,040	13,814
売上原価	7,086	7,943
売上総利益	4,953	5,871
販売費及び一般管理費	3,558	4,046
営業利益	1,394	1,825
営業外収益		
受取利息	0	5
受取配当金	506	577
為替差益	44	87
その他	81	47
営業外収益合計	632	717
営業外費用		
支払利息	29	18
店舗等除却損	1	1
その他	25	19
営業外費用合計	56	38
経常利益	1,970	2,504
特別利益		
助成金収入	122	34
債務免除益	933	—
リース解約益	166	—
特別利益合計	1,223	34
特別損失		
減損損失	※1 634	—
臨時休業等による損失	※2 42	—
特別損失合計	677	—
税金等調整前四半期純利益	2,516	2,538
法人税、住民税及び事業税	279	414
法人税等調整額	272	130
法人税等合計	551	544
四半期純利益	1,965	1,993
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,947	1,979

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,965	1,993
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△394	1,227
繰延ヘッジ損益	△11	△116
為替換算調整勘定	113	△0
退職給付に係る調整額	△2	△3
その他の包括利益合計	△295	1,107
四半期包括利益	1,669	3,101
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,651	3,087
非支配株主に係る四半期包括利益	18	13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月29日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議し、当該決議に基づき自己株式2,913,300株の取得を行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が1,849百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が6,958百万円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第2四半期連結会計期間において、LEONARD FASHION SASの全株式を取得したため、同社及びその子会社6社を連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を2022年6月30日としており、かつ四半期連結決算日との差異が3ヶ月を超えないことから、第2四半期連結会計期間は貸借対照表のみ連結し、当第3四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 減損損失

前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

用途	種類	場所	減損損失 (百万円)
販売店舗	建物及び構築物	大阪市中央区	4
	工具、器具及び備品	大阪市中央区	0
	長期前払費用	大阪市中央区	0
事業用資産	商標権	ロンドン	628
計			634

当社グループは、事業別を基本とし、貸貸用資産及び遊休資産等については、それぞれの物件ごとにグルーピングを行っております。

販売店舗の資産グループについては、閉鎖が決定したことにより、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。商標権については、英国の連結子会社であるDAKS SIMPSON LIMITEDにおいて、経営環境の悪化等により当初想定していた収益が見込めなくなったことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、回収可能価額は販売店舗においては、使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローに基づく使用価値がマイナスであるため、回収可能価額を零として評価しております。事業用資産においては、使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローを9.0%~15.1%の割引率で割り引いて算定しております。

当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)

該当事項はありません。

※2 臨時休業等による損失

前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

新型コロナウイルス感染症拡大を受けた緊急事態宣言に伴う店舗等の休業期間中に発生した固定費(人件費等)を「臨時休業等による損失」として特別損失に計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,483	5,376	1,180	12,040	—	12,040
セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	408	116	526	△526	—
計	5,483	5,785	1,297	12,567	△526	12,040
セグメント利益	1,148	134	446	1,730	△335	1,394

(注) 1. セグメント利益の調整額△335百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△375百万円及びセグメント間取引消去等40百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業		
減損損失	634	—	—	—	634

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	6,374	5,943	1,497	13,814	—	13,814
セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	484	114	599	△599	—
計	6,374	6,427	1,611	14,414	△599	13,814
セグメント利益	1,752	52	500	2,306	△480	1,825

(注) 1. セグメント利益の調整額△480百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△429百万円及びセグメント間取引消去等△50百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「ファッション関連事業」において、当社はLEONARD FASHION SASの全株式を取得し、同社及びその子会社6社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては414百万円であります。